



2026年度

昭和医科大学医学部 一般I期 物理 入試問題

2026年2月6日実施

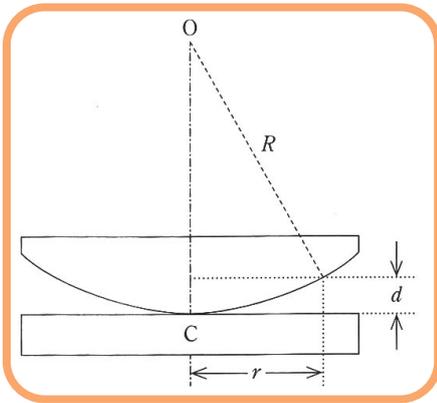
YMS「昭和I期模試」から 入試問題がズバリ大的中!!

実際の入試問題

4 図のように、平面ガラス板の上に、大きい曲率半径 R の平凸レンズを凸面を下に向けておいた。真上から波長 λ の単色光を入射させて上から見ると、レンズとガラス板の接点 C を中心とする明暗の輪が同心円状に並んでいるのがみえた。ただし、平面ガラス板と平凸レンズの屈折率は同じであり、空気の屈折率を1とする。

(5) 次に、平凸レンズと平面ガラスの間に水を入れて、上から波長 λ の単色光をあてて上から観測を行った。水はガラスより屈折率が小さいものとする。平凸レンズと平面ガラスの間が空気であったときと比べて、水をいれた場合に、生じる縞模様の明暗と環の半径はどのように変化するかを述べなさい。

(6) 次に、平凸レンズと平面ガラスの間に油を入れて、上から波長 λ の単色光をあてて上から観測を行った。油はガラスより屈折率が大きいものとする。平凸レンズと平面ガラスの間が水で



YMS 昭和医学部I期模試の会場は
本番の受験会場となる
『五反田 TOC』にて実施



さらに

模試受験者
限定で
開催しました!

小風医学部長
特別講演会

※昭和医科大学医学部I期模試終了後の実施です

入試についても触れる予定です!

昭和医科大学で学ぶ

—2026年度から導入の新カリキュラムの紹介—

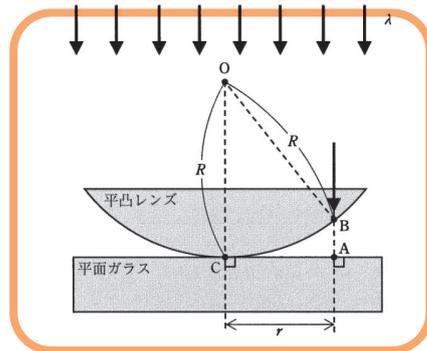


「ニュートンリング」 の大問 が大的中!!

大学別
模試

YMS 昭和I期模試

下図のように、平面ガラスの上に、一方が平面で他方が点 O を中心とする大きな半径 R の球面である平凸レンズを球面を下にして重ね、上から平面ガラスに垂直に波長 λ の単色光をあてる。図では球面であることがわかりやすいように R を小さくして表示している。上から見ると、平凸レンズと平面ガラスの接点 C を中心とする同心円状の明暗の縞模様が観察される。この縞模様をニュートンリングという。



(5) 屈折率 n の液体を平面ガラスと平凸レンズの間に入れると明環、暗環の半径がすべて 0.90 倍になった。 n を求めなさい。